

# 生活単元学習指導案

令和3年10月〇日（〇曜日） 中学部2年教室 生徒4人

指導者 〇〇 〇〇（T1）

〇〇 〇〇（T2）

## 1 単元名 「手洗い博士になろう～自分で作った石けんできれいに手を洗おう～」

## 2 考察

### (1) 教材観

コロナ禍において、手洗いの重要性を理解して実践することは必要課題であり、いろいろな方法で繰り返し学習を行ってきた。本単元は、手洗いの重要性を理解して実践するという課題達成に向け、石けんを作る活動や手洗い博士として手洗いの大切さを伝える活動を設定した単元である。生活科（「様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすること。」特別支援学校学習指導要領生活科3段階カ役割）を中心に、個に応じて自立活動や各教科等の指導内容を取り扱う。

総合的な学習の時間には、一学期に手洗い後の汚れ残りを調べる体験学習を通して手洗いの仕方や石けんの重要性について再確認し、二学期には手洗いの仕方や石けんの効果についての調べ学習を行った。これらの学習を受けて、本単元では、自分で石けんを作る活動を通して、改めて石けんや手洗いの重要性を確認し、学習したことを身近な人に伝えることを目指す。単元を通して、「手洗い博士」になるという目標をもち、学習の見通しをもちながら一つ一つ課題を達成していけるようにした。

### (2) 生徒の実態及び指導方針

本学習集団は、教師の支援を受けて活動することが多い生徒たちであるが、好きな制作活動や見通しのもてる環境では、自分から進んで活動する姿が見られる。また、自分から周りに伝えようとする意識や役割への意識が芽生え始めている生徒もいる。本単元では、石けんを作る活動を取り入れることで生徒の主体的な活動を促し、自分で作った石けんで手洗いをする中で手洗いの意欲を高めることを目指す。また、身近な人に石けんをプレゼントする機会を設けることで、学習したことを伝えようとする力の育成を目指す。本単元に関わる生徒の個別の実態は以下のとおりである（以下省略）。

## 3 研究との関わり

研究協力校の中学部教師13名を対象とし、生活単元学習の授業の現状と教師の意識を調査するアンケートを実施したところ、生活単元学習における課題として、「前単元の学習を生かすこと」や「目的や目標、育てたい力の設定」、「一人一人の実態に応じて学習を組み立てること」が難しいことが挙げられた。これらの課題を解決するために、自立を目指すという点で共通しているキャリア教育の視点に着目した。キャリア教育については、平成29年4月に告示された特別支援学校学習指導要領（小学部・中学部）において「学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう」キャリア教育の充実を図ることが示された。また、本県においては「第2期群馬県特別支援教育推進計画」の中で、「キャリア教育に係る実践力を高めるために、個別の指導計画を活用した組織的、計画的」な指導を蓄積、共有することを推進すると示された。本研究では、生活単元学習の課題を解決するために、日々の授業の中にキャリア教育の視点を取り入れることが有効であると考え、生徒の特性やよさを可視化して自立に関わる実態を明らかにすることを目指す積み上げシートと、明らかにした実態を生かして自立に向けて育てたい力と支援を設定して単元のねらいの達成を目指す共有シートの作成を行った。本単元においては、教師が積み上げシートと共有シートを活用しながら授業づくりを行い、教師が一人一人の自立に関わる実態を明らかにし、自立に向けて育てたい力と支援を設定することで、生徒が生活単元学習のねらいを達成し、自立につながる力を身に付けることができたか検証していきたい。

#### 4 単元目標

- 石けんを使った手洗いの重要性について理解することができる。 (知識・技能)
- 調べたことを意識して、手を洗うことができる。 (思考・判断・表現)
- 手洗い博士として、友達や家族に手洗いの重要性について伝えることができる。  
(主体的に学習に取り組む態度)

#### 5 指導の評価の計画 (全5時間予定)

##### (1) 評価規準

評価の観点	趣旨
石けんを使った手洗いの重要性についての知識・技能	手の汚れが残りやすい部分に応じた手洗いの仕方や石けんを使う効果を理解する。
汚れを落として、よりきれいに手洗いをするための思考・判断・表現	自分で作った石けんを使って、学習した手洗いのポイントを確認しながら手を洗うことができる。
学習した手洗いの重要性を身近な人に伝えようとする主体的に学習に取り組む態度	学習した手洗いの重要性を身近な人に伝えようとする。

##### (2) 単元計画

時 程	過 程	○学習活動 ・指導上の留意点及び支援	ねらい	評価の観点			評価の方法
				知	思	態	◎研究に関わる評価 ●学習改善につなげる評価
第 1 時	手洗い博士を目指して、石けんを作り、きれいに手洗いをしよう						
	つ か む	<div>好きな形の石けんを作ろう</div> <p>○手洗い博士になる道のりを示す「手洗い博士になろう！カード」で学習の見通しをもつ。</p> <div>共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動</div> <p>○手順を確認しながら、石けんを作る。</p> <p>・何回振る、コップの線まで水を入れるなど、具体的な数や目印を示す。</p> <p>・複数の抜き型を用意し、好きな形を選べるようにする。</p> <p>○手順を確認しながら、石けん置きを作る。</p>	<p>手洗い博士を目指す、という学習の目標を理解する。</p> <p>教師の手本を見て、好きな形の石けん置きを作ることができる。</p> <p>●</p>	◎作り方の見通しをもち、自分で考えたり、抜き型を選択したりしながら石けんを作っている。 <p>●教師の手本を見て、好きな形の石けん置きを作っている。</p>			

		<ul style="list-style-type: none"> <li>どこをどのくらい切ればよいかが分かるように目印の線を書いておく。</li> </ul>					る。
第2時	追究する	<div>自分が作った石けんで、手をきれいに洗おう</div> <div>共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分で作った石けんを使って手を洗う。</li> <li>・きれいに洗うために意識することを確認してから手を洗うようにする。</li> </ul>	学習したことを意識して手を洗うことができる。		●		◎自分で作った石けんを使うことで、手洗いの意欲が高まり、学習したことを意識して手を洗っている。 ●学習したことを生かして、汚れが落ちるように工夫して手洗いをしている。
第3・4時		<div>身近な人のために形を選んで、石けんと石けん置きを作ろう</div> <div>共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な人のために、石けんと石けん置きを作る。</li> <li>・誰に作るかを決めることが難しい場合には選択肢を提示する。</li> <li>・前時の活動写真を用いた手順表を見て、作り方を確認できるようにする。</li> </ul>	作る相手をイメージして石けんと石けん置きを作ることができる。		●		◎作る相手をイメージすることで、意欲的に石けんと石けん置きを作っている。 ●身近な人のために好きな形や模様の石けんと石けん置きを作っている。
第5時	まとめる	<div>自分で作った石けんと石けん置きを渡して、手洗いの大切さを伝えよう</div> <div>共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○手洗いの大切さについて伝えたいことを決めて、メッセージカードを作る。</li> <li>・メッセージカード（石けんや</li> </ul>	学習したことをメッセージカードに記入することができる。				◎相手に伝えたい内容を選ぶ活動を設定することで、学習を振り

		手洗いについて調べたことを記入して仕上げる)を数種類用意し、自分で伝えたい内容を選べるようにする。 ○作成した石けん、石けん置きを渡しに行く。 ・渡すときのポイントを確認し、伝えたいことが伝わるように支援する。				● ●学習したことをメッセージカードに記入し、身近な人に伝えている。
--	--	---	--	--	--	------------------------------------

## 6 展開（第1時：つかむ）

### (1) 本時の目標

<全体>

手洗いの重要性について確認し、自分の石けんと石けん置きを作ることができる。

(知識・技能)

### (2) 準備

総合的な学習の時間にまとめた紙、石けんの材料（水、塩、液体石けん）、抜き型、ざる、新聞紙、クッキングシート、ペットボトル、「手洗い博士になろう！カード」

### (3) 展開

○学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	・指導上の留意点及び支援 ☆個別に行う支援等 ◇研究の検証に関わる支援 ◎研究の検証に関わる評価 ●学習改善につなげる評価
○総合的な学習の時間に行った調べ学習を振り返る。 <振り返りたいこと> ・石けんが汚れを包むこと ・石けんを使って洗うと手の汚れが落ちること ・30秒洗い、15秒流すこと ・手洗いのやり方  ○単元のめあてをつかむ。	10分	・総合的な学習の時間に、「手洗い博士」になるために、手洗いや石けんについて調べたことを、まとめた紙を見ながら振り返る。 ☆調べたことについて、実態に応じて質問をし、まとめた紙を見て答えられるようにする。難しい場合は、教師がヒントを伝えたり、答えが書かれているところを示したりして支援する。 ・今までの学習を振り返り、手洗いの重要性や必要性を再確認する。
手洗い博士を目指して、石けんを作り、きれいに手洗いをしよう		
○本時のめあてをつかむ。		・手洗い博士までの道のりを示す「手洗い博士になろう！カード」を提示し、調べ学習で手洗い博士に近付いたことや今後の学習の見通しをもてるようにする。
好きな形の石けんを作ろう		
		◇さまざまな形の石けんの見本に触れたり、香りをかいだりしてイメージをもてるようにする。

<p>共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動</p> <p>○石けんづくりの手順を確認しながら石けんを作る。</p> <p>①塩を入れる ②水を入れる ③80回振る ④ざるに流す ⑤まとめる ⑥平らにする ⑦形を作る （型抜き、型入れ） ⑧乾かす</p>	20分	<p>・教師が手順を示しながら、実際にやってみせる。手順ごとに、教師の手本を見た後に生徒が行う、という流れで作り、石けんづくりの手順が分かるようにする。</p> <p>◇次に行う手順を理解しているか、質問をして確認するようにする。また、何をするのか伝えられたときに称賛する。</p> <p>◇抜き型を複数用意し、自分の好きな形を選べるようにする。</p>
<p>共有シートから生徒 E のキャリアポイント:活動の流れが分かる。</p> <p>育てたい力:役割を意識して情報を収集しようとする力</p> <p>支援:何回振る、コップの線まで入れるなど、具体的な数や目印を示すようにする。</p>		
<p>◎手順を具体的に示すことで、作り方が分かり自分で次の手順を確認しながら石けんを作っている。</p>		
<p>共有シートから生徒 G のキャリアポイント:手元を見る。</p> <p>育てたい力:教師の支援を受けて実行しようとする力</p> <p>支援:手元を見るように促し、手元を見て丁寧に作業しているときに称賛する。頑張ったことやできたことを教師と一緒に確認し、共に喜ぶ。</p>		
<p>◎手元を見て作業できたことを称賛することで、より手元を見ようとしている。</p>		
		<p>◎作り方の見通しをもち、自分で考えたり抜き型を選択したりしながら石けんを作っている。</p> <p>●教師の手本を見て、好きな形の石けんを作っている。</p>
<p>共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動</p> <p>○石けん置きづくりの手順を確認しながら石けん置きを作る。</p> <p>①好きなペットボトルを選ぶ ②線を切る ③交互に折る ④角を切る ⑤色をぬったり、シールを貼ったりする</p>	10分	<p>・教師が手順を示しながら、実際にやってみせる。手順ごとに、教師の手本を見た後に生徒が行う、という流れで作り、石けん置きづくりの手順が分かるようにする。</p> <p>◇どこをどのくらい切ればよいか分かるように目印の線を書いておく。</p> <p>◇次に行う手順を理解しているか、質問をして確認するようにする。また、何をするのか伝えられたときに称賛する。</p> <p>・土台となるペットボトルを複数用意し、自分の好きな形を選べるようにする。</p> <p>◎作り方の見通しをもち、自分で考えたり抜き型を選択したりしながら石けん置きを作っている。</p>

		●教師の手本を見て、好きな模様の石けん置きを作っている。
○作った石けんと石けん置きを友達と見合う。  ○次時の授業への見通しをもつ。	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作る過程で、生徒が自分で選んだり考えたりしていたところを教師が紹介する。</li> <li>・好きな形の石けんと石けん置きが作れたことで、手洗い博士に一步近付いたことを「手洗い博士になろう！カード」で確認する。</li> <li>・石けんが乾いて完成したら、どうしたいかを相談する。次時に、自分で作った石けんで手洗いをしてみることを提案する。</li> </ul>

「手洗い博士になろう～自分で作った石けんで手洗いしよう～」				I組		
<単元目標>	石けんを使った手洗いの重要性について理解することができる			知識・技能		
	調べたことを意識して、手を洗うことができる			思考・判断・表現		
	手洗い博士として友達や家族に手洗いの重要性について伝えることができる			主体的に学習に取り組む態度		
<主な活動・目標>						
過程	つかむ	1時間	追究する	3時間	まとめる	1時間
主な活動	自分の石けんを作り、手洗いにに対する意欲を高める		自分で作った石けんで手を洗って意欲を高め、周りの人のために石けんを作る		石けんを使った手洗いの重要性を相手に伝え、石けんを贈る	
主な目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
選択・考える活動	好きな石けんの形や石けん置きデザインの選ぶ		贈る相手を考えてデザインを選ぶ		伝えたいことを選ぶ	
具体的例	石けんの完成形を提示する		贈る相手の写真		カードの内容	
手立て	見通しをもって主体的に行動できるよう学習環境を工夫する		目的が達成しやすいように、段階的な指導を行う		活動後に、充実感や達成感、自己肯定感が得られるように指導する	
☆「つかむ」活動のキャリアポイント(キャリア教育の視点で特に重視したい活動)						
	キャリアポイント		特に重視したい活動で育てたい力		支援・留意点(上段は支援の一例)	評価
E	活動の見通し		F3 育てたい力 目指す方向性	役割を意識して情報を収集・活用しようとする力	必要な情報を取り出す経験を重ねられるようにする	◎80%
	活動の流れが分かる			必要な情報を収集することを目指す	具体的な数を提示する。	
G	活動の実行		E1 育てたい力 目指す方向性	教師の支援を受けて計画・立案・実行しようとする力	頑張ったことやできたことを教師と一緒に確認し、共に喜ぶ	◎80%
	手元を見る			教師と一緒に簡単な課題に取り組むことを目指す	手元を見て作ることができたとき称賛する。	

図1 第1時の共有シート(生徒E・G)

## 展開（第２時：追究する）

### （１） 本時の目標

<全体>

自分が作った石けんを使って洗い 30 秒、すすぎ 15 秒行い、手をきれいに洗うことができる。

### （２） 準備

総合的な学習の時間にまとめた紙、前時で作った石けん、タブレット、テレビ、タイマー、石けんの材料（水、塩、液体石けん）、抜き型、ざる、新聞紙、クッキングシート、ペットボトル、「手洗い博士になろう！カード」

### （３） 展開

○学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導上の留意点及び支援</li> <li>☆個別に行う支援等</li> <li>◇研究の検証に関わる支援</li> <li>◎研究の検証に関わる評価</li> <li>●学習改善につなげる評価</li> </ul>
○前時の学習内容を振り返る。 <振り返りたいこと> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石けんや手洗いについて調べたこと</li> <li>・自分の好きな形の石けんと石けん置きを作ったこと</li> <li>・手洗い博士を目指すこと</li> </ul> ○本時のめあてをつかむ。	10 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い博士までの道のりを示す「手洗い博士になろう！カード」を見て振り返る。前時に好きな形の石けんを作ったことで、手洗い博士に近付いたことと、本時は作った石けんで手洗いをするを確認する。</li> <li>・活動の写真やまとめた紙を提示して振り返る。</li> <li>☆調べたことについて、実態に応じて質問をし、まとめた紙を見て答えるようにする。難しい場合は、教師がヒントを伝えたり、答えが書かれているところを示したりして支援する。</li> <li>・手洗いの大切さや必要性、手洗い博士になるという学習の目標を確認する。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           自分が作った石けんで、手をきれいに洗おう         </div>		
○前時に作った石けんを型からはずし、作った石けん置きの上に置く。		☆好きな形を選んで作れたことを称賛する。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">           共有シートから、自分で考えたり、選択したりする活動         </div>		
○前時に作った石けんを使って手を洗う。 <予想される生徒の反応> <ul style="list-style-type: none"> <li>・爪や手首の汚れを落とそう</li> <li>・手洗いの歌の順番で洗おう</li> </ul>	30 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇手を洗う前に、きれいに洗うために意識することを聞くようにする。</li> <li>・一人ずつ順番に手を洗う。友達の手洗いの様子を見ることができるよう、タブレット端末で撮影しながらテレビで映すようにする。</li> <li>☆手洗いの様子を見ながら、教師がポイントを意識できていたところやよかったところを伝え、自分や友達の手洗いのよいところに気付くことができるようにする。</li> </ul>

共有シートから生徒 E のキャリアポイント: 自信をもって手をきれいに洗う。 育てたい力: 教師の支援を受けて実行しようとする力 支 援 : 活動や気持ちを受け止め、肯定する。頑張ったことやできたことを教師と一緒に確認し、共に喜ぶ。		
◎頑張ったことやできたことを受け止め、肯定することで自信をもって手をきれいに洗っている。		
共有シートから生徒 G のキャリアポイント: 苦手な左手を使って洗う。 育てたい力: 教師の支援を受けて苦手なことに対処しようとする力 支 援 : 左手を使って、右手の甲まで洗うことができたなら称賛する。		
◎自分で作った石けんを使うことで、手洗いの意欲が高まり、苦手な左手を使って、右手の甲を洗おうとしている。		
		◎自分で作った石けんを使うことで、手洗いの意欲が高まり、学習したことを意識して手を洗っている。 ●学習したことを生かして、汚れが落ちるように工夫して手洗いをしている。
○本時の活動を振り返る。	10 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の作った石けんで手洗いをしたことを振り返る。手洗いの仕方ではよかったところを教師が伝えながら振り返る。「手洗い博士になろう！カード」にきれいに手洗いできた証としてシールを貼り、手洗い博士に近づいたことを確認する。</li> <li>次時はどうしたいかを相談し、身近な人にプレゼントするために石けんと石けん置きを作ることを提案する。</li> </ul>

「手洗い博士になろう～自分で作った石けんで手洗いしよう～」					I 組		
<単元目標>	石けんを使った手洗いの重要性について理解することができる			知識・技能			
	調べたことを意識して、手を洗うことができる			思考・判断・表現			
	手洗い博士として友達や家族に手洗いの重要性について伝えることができる			主体的に学習に取り組む態度			
<主な活動・目標>							
過程	つかむ	I 時間	追究する	3 時間	まとめる	I 時間	
主な活動	自分の石けんを作り、手洗いにに対する意欲を高める		自分で作った石けんで手を洗って意欲を高め、周りの人のために石けんを作る		石けんを使った手洗いの重要性を相手に伝え、石けんを贈る		
主な目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
選択・考える活動	好きな石けんの形や石けん置きをデザインを選ぶ		贈る相手を考えてデザインを選ぶ		伝えたいことを選ぶ		
具体的例	石けんの完成形を提示する		贈る相手の写真		カードの内容		
手立て	見通しをもって主体的に行動できるよう学習環境を工夫する		目的が達成しやすいように、段階的な指導を行う		活動後に、充実感や達成感、自己肯定感が得られるように指導する		
☆「追究する」活動のキャリアポイント(キャリア教育の視点で特に重視したい活動)							
	キャリアポイント		特に重視したい活動で育てたい力		支援・留意点(上段は支援の一例)		評価
E	活動の実行		EI	育てたい力	教師の支援を受けて計画・立案・実行しようとする力		◎80%
	自信をもって手をきれいに洗う			目指す方向性	教師と一緒に簡単な課題に取り組むことを目指す		
G	活動の実行		DI	育てたい力	教師の支援を受けて苦手なことに対処しようとする力		○60%
	苦手な左手を使う			目指す方向性	感覚の過敏さや快、不快の感情に気付くことを目指す		

図2 第2時の共有シート(生徒E・G)

※授業後の教師の評価では、生徒Gの評価は60%であった。担当教師は、石けんの泡立ちが少なかったために手の甲まで洗うことができなかった、と考え、次は泡立てるネットを使用する、という支援の改善につながった。



展開（第3、4時：追究する）

(1) 本時の目標

<全体>

手洗いの重要性について確認し、身近な人のために石けんと石けん置きを作ることができる。

(2) 準備

総合的な学習の時間にまとめた紙、石けんの材料（水、塩、液体石けん）、抜き型、ざる、新聞紙、クッキングシート、ペットボトル、「手洗い博士になろう！カード」

(3) 展開

○学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導上の留意点及び支援</li> <li>☆個別に行う支援等</li> <li>◎研究の検証に関わる支援</li> <li>◇研究の検証に関わる評価</li> <li>●学習改善につなげる評価</li> </ul>
○前時までの学習の内容を振り返る。 <振り返りたいこと> ・石けんや手洗いについて調べたこと ・自分の好きな形の石けんと石けん置きを作ったこと ・手洗い博士になること  ○本時のめあてをつかむ。	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い博士までの道のりを示す「手洗い博士になろう！カード」を見て、振り返る。前時に自分で作った石けんを使ってきれいに手洗いしたことで、手洗い博士に近付いたことと、本時は身近な人のために石けんと石けん置きを作ることを確認する。</li> <li>・活動の写真やまとめた紙を提示し、振り返る。</li> <li>☆調べたことや石けんづくり、手洗いの活動について、実態に応じて質問をし、やりとりの中で振り返れるようにする。難しい場合は、教師がヒントを伝えたり、まとめた紙や写真を提示したりして支援する。</li> <li>・手洗いの大切さや必要性、手洗い博士になるという学習の目標を確認する。</li> </ul>
<div>身近な人のために形を選んで、石けんと石けん置きを作ろう</div>		
<div>共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動</div> ○石けんづくりの手順を確認しながら石けんを作る。 <ol style="list-style-type: none"> <li>①塩を入れる</li> <li>②水を入れる</li> <li>③80回振る</li> <li>④ざるに流す</li> <li>⑤まとめる</li> <li>⑥平らにする</li> <li>⑦形を作る（型抜き、型入れ）</li> <li>⑧乾かす</li> </ol>	20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇誰に作るかを決めてから作るようにする。</li> <li>☆イメージすることが難しい生徒には選択肢を提示し、選ぶことができるようにする。</li> <li>◇前時に生徒が作っている写真を用いた手順表を見て、作り方を確認できるようにする。</li> <li>◇何回振る、コップの線まで入れるなど、具体的な数や目印を示すようにする。</li> <li>◇次に行う手順を理解しているか、質問をして確認するようにする。また、何をするのか伝えられたときに称賛する。</li> </ul>

<p>共有シートから生徒 E のキャリアポイント:活動の流れが分かる。</p> <p>育てたい力:役割を意識して情報を収集しようとする力</p> <p>支 援 :何回振る、コップの線まで入れるなど、具体的な数や目印を示すようにする。</p>		
<p>◎手順を具体的に示すことで、作り方が分かり自分で次の手順を確認しながら石けんを作っている。</p>		
<p>共有シートから生徒 G のキャリアポイント:手元を見る。</p> <p>育てたい力:教師の支援を受けて実行しようとする力</p> <p>支 援 :手元を見るように促し、手元を見て丁寧に作業しているときに称賛する。頑張ったことやできたことを教師と一緒に確認し、共に喜ぶ。</p>		
<p>◎手元を見て作業できたことを称賛することで、より手元を見ようとしている。</p>		
		<p>◎作る相手をイメージすることで、意欲的に石けんを作っている。</p> <p>●身近な人のために、好きな形の石けんを作っている。</p>
<p>共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動</p>		
<p>○石けん置きづくりの手順を確認しながら、石けん置きを作る。</p> <p>①好きなペットボトルを選ぶ</p> <p>②線を切る</p> <p>③交互に折る</p> <p>④角を切る</p> <p>⑤色をぬったり、シールを貼ったりする</p>	10 分	<p>・前時に生徒が作っている写真を用いた手順表を見て、作り方を確認できるようにする。</p> <p>◇どこをどのくらい切ればよいかが分かるように目印の線を書いておく。</p> <p>◇次に行う手順を理解しているか、質問をして確認するようにする。また、何をするのか伝えられたときに称賛する。</p> <p>・土台となるペットボトルを複数用意し、自分の好きな形を選べるようにする。</p> <p>◎作る相手をイメージすることで、意欲的に石けん置きを作っている。</p> <p>●身近な人のために、好きな模様の石けん置きを作っている。</p>
<p>○作った石けんと石けん置きを友達と見合う。</p> <p>○次時の授業への見通しをもつ。</p>	10 分	<p>・作る過程で、自分で選んだり考えたりしていたところを教師が紹介する。</p> <p>・身近な人のために形を選んで石けんと石けん置きが作れた証として「手洗い博士になろう！カード」にシールを貼り、手洗い博士に一歩近付いたことを確認する。</p> <p>・石けんが乾いて完成したら、どうしたいかを相談する。次時に、身近な人に手渡しに行くことを提案する。</p>

※共有シートは、前ページ図 1 を活用。

展開（第5時：まとめる）

(1) 本時の目標

＜全体＞

身近な人のために作成した石けんと石けん置きを渡しに行き、学習した手洗いの大切さを伝えることができる。

(2) 準備

総合的な学習の時間にまとめた紙、メッセージカード、作成した石けん、石けん置き、ラッピングの袋、「手洗い博士になろう！カード」

(3) 展開

○学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	・指導上の留意点及び支援 ☆個別に行う支援等 ◇研究の検証に関わる支援 ◎研究の検証に関わる評価 ●学習改善につなげる評価
○前時までの学習内容を振り返る。 ＜振り返りたいこと＞ ・石けんや手洗いについて調べたこと ・身近な人のために形を選んで石けんと石けん置きを作ったこと ・手洗い博士を目指すこと  ○本時のめあてをつかむ。	5分	・「手洗い博士になろう！カード」を見て、振り返る。前時に身近な人のために形を選んで石けんと石けん置きを作ったことで、手洗い博士に近付いたことと、作った石けんと石けん置きを渡しに行き、学習してきた手洗いの大切さを伝えることを確認する。 ☆前時に誰のために石けんと石けん置きを作ったのか確認する。 ・手洗いの大切さや必要性、手洗い博士になるという学習の目標を確認する。
自分で作った石けんと石けん置きを渡して、手洗いの大切さを伝えよう		
共有シートから、自分で考えたり選択したりする活動		
○手洗いの大切さについて伝えたいことを決めて、メッセージカードを作る。 ＜メッセージカードの内容＞ ・手の汚れの残りやすい部分 ・汚れを落とす手洗いの仕方 ・石けんの効果  ○作成した石けんと石けん置きをラッピングし、メッセージカードを添える。  ○作成した石けん、石けん置	40分	◇石けんや手洗いについて調べたことを記入して仕上げるメッセージカードを数種類用意し、その中から自分が伝えたい内容を選べるようにする。 ☆必要に応じて、調べ学習でまとめた紙を見て確認しながら記入できるようにする。 ・作った相手が喜んでくれるように、丁寧に仕上げるように声掛けをする。 ◇手洗い博士を目指して学習してきたことを振り返り、学習の目標を確認する。 ◎相手に伝えたい内容を選ぶ活動を設定することで、学習を振り返り、伝えたいことを選んで記入している。  ◇渡すときのポイントを確認し、伝えたいことが伝わるよ

きを渡しに行く。 ＜渡すときのポイント＞ ・両手で渡す。 ・〇〇のために、自分で石けんと石けん置きを作ったことを伝える ・メッセージカードを使って、手洗いの大切さを伝える		うに支援する。 ☆必要に応じて、台詞カードを準備する。 ・渡すときによかったところを教師が紹介するように伝え、渡すときの参考にしたり、自分や友達のよさに気付いたりできるようにする。 ◇教師と一緒に、渡したときの相手の様子や言葉を振り返り、相手が喜んでくれたことや褒めてくれたことを確認する。
共有シートから生徒 E のキャリアポイント: 渡すときに相手の方を見ながら渡す。 育てたい力: 役割を意識して情報を収集しようとする力 支 援 : 相手に渡すときのポイントを確認してから渡すようにする。		
◎相手に渡すときのポイントを確認してから渡すことで、相手の方を見ながら渡している。		
共有シートから生徒 G のキャリアポイント: 渡すときに伝えたいことを伝える。 育てたい力: 教師の支援を受けて伝えようとする力 支 援 : 渡すときに伝える練習を積み、伝えられたときに称賛する。		
◎伝える練習の中で称賛する支援を行うことで、渡すときに伝えたいことを伝えている。		
		●学習したことをメッセージカードに記入し、身近な人に伝えている。
○手洗いの大切さを伝えられたことや相手の反応を振り返る。  ○これからの生活の中で生かしていくことを確認する。	5 分	◇渡したときの相手の様子や言葉を振り返り、相手が喜んでくれたことや褒めてくれたことを確認する。 ・身近な人に石けんと石けん置きを渡しながらか、学習したことを伝えられた証として「手洗い博士になろう！カード」にシールを貼り、手洗い博士になるための課題を達成したことを確認する。 ・「手洗い博士になろう！カード」を見ながら、手洗い博士を目指して学習を積み重ねてきたことを確認する。 ・手洗いの大切さについて理解したことや身近な人に伝えられたことを確認し、これからの生活の中でも意識していけるように声掛けをする。

「手洗い博士になろう～自分で作った石けんで手洗いしよう～」					I 組		
<単元目標>		石けんを使った手洗いの重要性について理解することができる			知識・技能		
		調べたことを意識して、手を洗うことができる			思考・判断・表現		
		手洗い博士として友達や家族に手洗いの重要性について伝えることができる			主体的に学習に取り組む態度		
<主な活動・目標>							
過程	つかむ	1時間	追究する	3時間	まとめる	1時間	
主な活動	自分の石けんを作り、手洗いにに対する意欲を高める		自分で作った石けんで手を洗って意欲を高め、周りの人のために石けんを作る		石けんを使った手洗いの重要性を相手に伝え、石けんを贈る		
主な目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
選択・考える活動	好きな石けんの形や石けん置きデザインを選ぶ		贈る相手を考えてデザインを選ぶ		伝えたいことを選ぶ		
具体的例	石けんの完成形を提示する		贈る相手の写真		カードの内容		
手立て	見通しをもって主体的に行動できるよう学習環境を工夫する		目的が達成しやすいように、段階的な指導を行う		活動後に、充実感や達成感、自己肯定感が得られるように指導する		
☆「まとめる」活動のキャリアポイント(キャリア教育の視点で特に重視したい活動)							
	キャリアポイント		特に重視したい活動で育てたい力		支援・留意点(上段は支援の一例)		評価
E	活動の実行	AI	育てたい力	教師の支援を受けて伝えようとする力	イラストや写真で選択肢を提示する		◎80%
	渡すときに相手の方を見ながら渡す		目指す方向性	双方向のコミュニケーションの成立を目指す	相手に渡すときのポイントを確認してから渡す		
G	活動の実行	AI	育てたい力	教師の支援を受けて伝えようとする力	イラストや写真で選択肢を提示する		◎80%
	渡すときに伝えたいことを伝える		目指す方向性	双方向のコミュニケーションの成立を目指す	伝える練習を積み、伝えられたときに称賛する		

図3 第5時の共有シート(生徒E・G)